

## 認定心理士認定委員会より

認定委員会の委員長に就任してから2回目の年越しをいたしました。新年を迎えてすでに1ヵ月が過ぎんとしているところかと思いますが、本年もどうぞよろしくをお願いします。

## 1. 認定委員会について

さて前号では、本年度第3回、通算133回認定委員会までの審査状況を報告しました。それ以降、本原稿を執筆している2012年10月末までに2回の委員会が開催されました。第4回（通算134回）は2011年8月4日、第5回（通算135回）は10月20日のいずれも土曜日に開催されました。この2回の委員会では、2012年の5月11日から10月1日までに受け付けた申請のうち886件を審査し、その結果790件を合格とし、71件を保留、25件を不合格としました。本年度のこれまでの審査状況をまとめると、これまでに2,927件を審査し、2,608件を合格としたこととなります。

## 2. 資格認定の優遇措置について

なお、前号で資格認定の優遇措

置についてお知らせいたしました。事務局からのお知らせなども功を奏して、多くの申し込みがありました。この場を借りてお礼を申し上げますとともに、さらに多くの方からの申請をお待ちしています。

## 3. 研修会について

昨年度までは、認定心理士の資格取得者向けに特別な研修会を開催していましたが、本年度からは、一般向けに実施する公開シンポジウムと一本化いたしました。ここで、本年度の状況報告をさせていただきます。

本年度は「社会のための心理学シリーズ」、「基礎心理学の展開シリーズ」、「高校生のための心理学講座シリーズ」と題した3種類のシンポジウムを開催いたしました。最初の「社会のための心理学シリーズ」は、「負の連鎖を断ち切ることはできるか — 児童虐待からの再生 —」、「風評被害の心理学」、「犯罪と被害防止に貢献する心理学」というテーマで、それぞれ2回、さらに専修大学で開催された日本心理学会第76回大会の中で、「自分らしく生きるための絆をもとめて — 生涯発達心理学への招待 —」というテ

ーマで1回開催いたしました。それぞれの参加状況ですが、第1テーマの東京会場が400名、京都会場が310名、第2テーマの福岡会場が55名、第3テーマの京都会場が70名、東京会場が230名、第4テーマの日本心理学会大会会場が100名と盛況を博しました。

2つめの「基礎心理学の展開シリーズ」は、9月に兵庫と東京の2会場で、それぞれ「心理学における動物実験の実際 — 動物実験の供覧、ビデオ鑑賞、実験シミュレーションを含む —」、「選択の科学 — 心理学から見た行動経済学 —」というテーマで開催いたしました。こちらも参加者はそれぞれ64名、100名と好評でした。

さらに「高校生のための心理学講座シリーズ」は北海道から九州まで8会場で開催され、総計約800名の方々が参加されました。

新年度も、こうした企画を一層充実したものにしていきたいと考えております。ご協力のほどよろしくをお願いします。

（日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 山田寛）

## 編集後記

リア充という言葉があります。昔のネアカ（ネクラに対する）も同じような意味でしょう。でも、幸福感を考えるとときに気をつけなくてはいけないのは「これが幸せだ」という観念を押し付けられないこと。そのためには、視点の多様性は忘れたくないな、と。測定のような心理学の技術、システムとしての心、瞑想、知恵を愛しもとめること。今回の特集のもつ広がりを楽しんでいただければ幸いです。特集を企画する過程もまた幸福です。（杉浦義典）

## 編集委員（五十音順）

編集委員長  
副委員長  
委員

岡本聡介	日本大学
大宮優子	明治学院大学
小神優一	和洋女子大学
近藤清美	東京女子大学
久保南海子	北海道医療大学
三宮真智子	愛知淑徳大学
杉浦義典	大阪大学
杉若弘子	広島大学
時津裕子	同志社大学
林創	徳山大学
森岡正芳	岡山大学
阿部純一	神戸大学
	北海道大学

担当常務理事

心理学ワールド [60号] 2013年1月15日発行

年4回発行（1月、4月、7月、10月）

発行人—佐藤隆夫

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社